

第19回 ヤマト福祉財団小倉昌男賞 募 集



- 正 賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」
- 副 賞：賞金 100万円
- 募集期間：平成30年7月1日～9月15日

公益財団法人ヤマト福祉財団

障がい者の自立支援などで、「この人こそ……」
と思われる方をぜひ推薦ください。

ヤマト福祉財団小倉昌男賞の候補者を募集します。
「この人こそ……」と思われる方を奮ってご推薦くださるよう
お願いいたします。

当財団では、障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的におし進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている人の中から毎年2名の方に『ヤマト福祉財団小倉昌男賞』を贈っています。あなたの周りに「この人こそ……」と思われる方がおられましたら、ぜひご推薦くださいますようお願いいたします。

なお、以前ご推薦いただいた方も候補者の対象となりますので、再度ご推薦いただければ幸いです。

1 賞の対象

日本国内に居住し、障がい者福祉施設、または民間企業の労働現場などにおいて、障がい者に積極的に働く機会を提供するなど次のいずれかに該当する個人を対象とします。

- ①給与をはじめ労働条件の改善を通じて、働く障がい者の生活向上に大きく貢献している方。
- ②障がい者に適した仕事や、労働環境づくりを工夫するなど、つねに障がい者の立場を考えて雇用拡大に努力し、著しい実績をあげている方。
- ③障がい者に熱心に仕事を教え、多くの障がい者をそれぞれ一人前の職業人として育てあげてきた方。
- ④障がい者を手助けしたり、励まして、障がい者が喜びをもって働き続けていくことを可能にしている方。
- ⑤障がい者の日常生活の良き相談相手となり、それによって多くの障がい者に生きる自信と喜びをもたらしている方。

2 賞の内容

- ①正賞：ブロンズ像「愛」 雨宮淳氏（1937年-2010年 日本藝術院会員）作
- ②副賞：賞金 100万円



3 受賞者数

2名以内とします。

4 募集方法

賞の候補者は、障がい者および障がい者福祉関係者の中から「推薦形式」によって募集します。ただし「他薦」とします。

5 募集期間

候補者の募集期間は、平成30年7月1日から9月15日までとします。

6 応募方法

「ヤマト福祉財団小倉昌男賞候補者推薦書」（別紙）に所要事項を記入し、郵便で（公財）ヤマト福祉財団宛に送付して下さい。推薦する方（賞の候補者）は、1名とします。

※候補者の略歴や実績・業績も一覧表形式で添付してください。

7 提出書類

- ヤマト福祉財団小倉昌男賞候補者推薦書
- 候補者の略歴や実績・業績（一覧表形式）

8 受賞者の選考

- ①受賞者を選考する機関として「選考委員会」を設置しています。
- ②選考委員会は、推薦された候補者の中から2名以内の受賞者を選考、決定します。

9 選考委員

次の各氏が選考委員として選考にあたります。

今野 由梨 (ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長)
渡辺 修 (元環境事務次官)
藤井 克徳 (きょうされん 専務理事)

瀬戸 薫 (公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長)
森下 明利 (ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長)

(順不同 敬称略)

10 受賞者の発表

受賞者は、平成30年10月末に発表します。

11 賞の贈呈式

平成30年12月6日(木)、東京都千代田区「一般社団法人日本工業倶楽部」において贈呈式ならびに受賞祝賀会を開催します。

「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」は、これまで次の方々を受賞されました。

第1回 平成12年度

- 伊藤 静美氏 (社会福祉法人 一妻会・妻の郷 常任理事)
- 金子 鮎子氏 (株式会社ストローク 代表取締役)

第2回 平成13年度

- 日浦美智江氏 (社会福祉法人 訪問の家 理事長)
- 伊沢 雄一氏 (社会福祉法人 はらからの家福祉会 施設長)

第3回 平成14年度

- 小島 靖子氏 ((有) ヴィ王子 取締役・スワンパーカリー十条店 店長)
- 武田 元氏 (はらからの会 会長・知的障害者通所授産施設「蔵王すずしろ」 施設長)

第4回 平成15年度

- 谷口奈保子氏 (NPO法人 ぱれっと 理事長)
- 永山 盛秀氏 (「わんからセンター」 相談員)

第5回 平成16年度

- 天野 貴彦氏 (町田市障がい者就労・生活支援センターらいむ センター長)
- 松村 茂利氏 (大阪うどん「つくし」 店長)
- 秋元波留夫氏 (金沢医科大学 客員教授、日本精神衛生会 会長、日本精神保健政策学会 会長)
- 調 一興氏 (社会福祉法人 東京コロナーおよび社団法人 ゼンコロ 名誉会長)

第6回 平成17年度

- 太田 勇氏 (調布市社会福祉事業団 知的障害者通所授産施設すまいる 施設長)
- 宮崎 潔氏 (社団法人 愛知県セルフセンター 名古屋市障害者雇用支援センター 所長)

第7回 平成18年度

- 亀井 勝氏 (社会福祉法人 ひびき福祉会 理事長)
- 高橋 昌巳氏 (社会福祉法人 桜雲会 理事長)

第8回 平成19年度

- 山田 昭義氏 (社会福祉法人 AJU自立の家 常務理事)
- 西澤 心氏 (社会福祉法人 まいづる福祉会 ワークショップほのぼの屋 施設長)
- 丸山 一郎氏 (埼玉県立大学 保健医療福祉学部社会福祉学科 教授)

第9回 平成20年度

- 山下 ヤス子氏 (社会福祉法人 まほろば福祉会 理事長)
- 新堂 薫氏 (社会福祉法人 武蔵野千川福祉会チャレンジャー 施設長)

第10回 平成21年度

- 大場 俊孝氏 (特定非営利活動法人 栗原市障害者就労支援センター「NPOステップアップ」 理事長、株式会社 大場製作所 代表取締役)
- 中崎 ひとみ氏 (社会福祉法人 共生シンフォニー 常務理事、就労継続支援A型事業所「がんばカンパニー」 所長)

第11回 平成22年度

- 佐治 リエ子氏 (社会福祉法人 さっぽろひかり福祉会 統括管理者)
- 北山 守典氏 (NPO法人ワークネット 理事・事務局長)

第12回 平成23年度

- 清田 廣氏 (社団法人 大阪障がい障害者協会 副会長)
- 柴田 智宏氏 (社会福祉法人 森山慶光園 ワークスひるぜん 理事・所長)

第13回 平成24年度

- 楠元 洋子氏 (社会福祉法人 キャンパスの会 理事長)
- 堀込真理子氏 (社会福祉法人 東京コロナー IT事業本部 トーコロ情報処理センター 職能開発室 所長)

第14回 平成25年度

- 風間美代子氏 (特定非営利活動法人 多摩草むらの会 代表理事)
- 熊田 芳江氏 (社会福祉法人 こころん 常務理事・施設長)

第15回 平成26年度

- 宮嶋 望氏 (農事組合法人 共働学会新得農場 代表、特定非営利法人 共働学会 副理事長)
- 佐伯 康人氏 (株式会社 パーソナルアシスタント青空 代表取締役)

第16回 平成27年度

- 西谷久美子氏 (社会福祉法人 はる 常務理事)
- 林 博文氏 (特定非営利活動法人 ビアファーム 理事長)
- 花田 春兆氏 (俳人・特定非営利活動法人 日本障害者協議会 顧問)

第17回 平成28年度

- 奥脇 学氏 (有限会社 奥進システム 代表取締役、公益社団法人 全国重度障害者雇用事業所協会 常務理事)
- 竹内 昌彦氏 (社会福祉法人 岡山ライトハウス 理事長)

第18回 平成29年度

- 山内 民興氏 (社会福祉法人 ぶろぼの 理事長)
- 松浦 一樹氏 (特定非営利活動法人 ENDEAVOR EVOLUTION 理事長兼事業長 株式会社 REGENE 代表取締役)



写真は第18回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈式(平成29年12月6日)

「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」
候補者推薦書の送付先及び
お問合せ先

〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18 ヤマト銀座ビル7F
TEL. 03-3248-0691 FAX. 03-3542-5165
<http://www.yamato-fukushi.jp/>

*推薦書(別紙)の用紙が足りない場合は、コピーをするか(公財)ヤマト福祉財団までご請求下さい。

障がい者の自立と社会参加を支援する—— 公益財団法人ヤマト福祉財団。



夢へのかけ橋実践塾の塾生が立ち上げた店舗のオープンに塾長として立ち会う第3回ヤマト福祉財団賞受賞者
武田 元氏（中列右から2番目 NPO コンパスの会 埼玉県三郷市）

ヤマト福祉財団は、こんな財団です。

（公財）ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年9月、ヤマト運輸株式会社の元社長・会長を歴任し、クロネコヤマトの宅急便を作り上げた故・小倉昌男氏（当財団初代理事長）の個人資産の寄付により創設されました。

財団の母体となっているのは、ヤマトホールディングス株式会社とそのグループ会社、ヤマトグループ企業労働組合連合会、各グループ会社の社員と労働組合員、約7万名です。法人、個人の賛助会員として又、労働組合のカンパ活動として資金面の援助を続けながら、日常の財団活動を多岐に渡って支えています。なお、平成30年3月末現在の財団の基本財産は約94億円となっています。

ヤマトグループの「企業姿勢」のなかに「地域社会から信頼される企業」として「ヤマトグループは、地域の一員として信頼される事業活動を行うとともに、障がいのある方の自立を願い、応援します。」と障がい者支援が明記されています。

ヤマト福祉財団は、こんな事業を展開しています。

- 障がい者福祉のための各種事業への助成＝障がいがある学生たちへの奨学金、障がい者の自立と社会参加に関する事業への助成などを行っています。
- 障がい者の働く場「パワーアップフォーラム」の開催＝障がい者の働く場や施設・事業所のあり方を実践している講師の方々と考え、地域での取組を交えたフォーラムを開催します。
- 「スワンベーカーリー」のチェーン店展開＝障がい者の働く場づくりを目的に設立されたパンの店「スワンベーカーリー」。全国にその輪を広げています。
- 「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」の贈呈＝障がい者の自立支援に、著しく貢献した方々を顕彰するこの賞も事業活動の一つです。
- 障がい者が地域で共生するために必要な仕事創りの一環として、ヤマト運輸のクロネコDM便配達業務のあっせんなど、具体的な仕事の提供を行っています。
- 「夢へのかけ橋」実践塾＝障がい者の工賃の飛躍的向上を目的として、小倉昌男賞受賞者の指導力や実行力を活かし、有志とともに障がい者の働く環境や能力を革新的に高めて、自立への道筋を作ります。

※詳しくは（公財）ヤマト福祉財団のホームページをご覧ください。

<http://www.yamato-fukushi.jp/>



第19回 ヤマト福祉財団小倉昌男賞 候補者推薦書

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員会 御中

平成30年 月 日

フリガナ
推薦者氏名 _____

〒
連絡先住所 _____

連絡先電話・FAX _____

所属団体（施設名等） _____

職 業 _____

候補者との関係 _____

下記の人を第19回「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」の候補者として推薦します。

候補者 フリガナ
氏 名 _____ 年齢 _____

〒
自宅住所 _____

所属団体（施設名等） _____

所属団体住所 _____

電話・FAX _____

現在の役職 _____

福祉関係業務の
経験年数 _____

推薦理由（できるだけ具体的に）

※略歴及び実績・業績は一覧表形式で添付してください。

.....
.....
.....

（裏面へ）

Blank lined paper with horizontal ruling lines.